

平成28年度第1回放送番組審議委員会 議事録

会 議 名	平成28年度 第1回 放送番組審議会
日 時	平成28年12月15日(木) 18:00 ~ 19:00
場 所	広島市信用組合 竹原支店 会議室
出 席 者	委 員 会 : 原委員長・水戸副委員長・今栄委員・柄崎委員 重川委員・森木委員 タ ネット : 近藤取締役・中野取締役・吉原制作部統括責任者 《撮影 住谷》 事務局 : 岡取締役・三國 以上 12名

内 容

冒頭、近藤取締役より、挨拶に続いて木村取締役退任についての説明と新役員の紹介があり、中野・岡の両取締役より就任の挨拶があった。

《審議番組》 「週末生タネ！」
平成28年12月2日放送開始の生放送の新番組

《審議委員からの意見》

(制作の吉原より番組の概要説明(内容、コンセプト等)があり、その後第1回放送分のVTRを放映)

- ・以前から提案していた生番組が現実となって大変喜ばしい。
 いろんな制約条件もあると思うが、与えられた環境の中でより良いものを作ってほしい。
- ・今年、障害者差別解消法施行により、特に公的機関は障害者に対する配慮が義務づけられるようになった。「タネット」も公設という立場から通常の番組に加えて、生番組でも障害者に配慮した放送(テロップなど)を検討していただきたい。
 また、福祉施設でカープグッズを作っているの、視聴者プレゼントとして使ってもらえれば良い。
- ・生放送によって具体的な効果は感じられるものがあるか？
 ─────────▶ 収録放送では告知できず、週末にテロップで流していた情報が、映像で提供できるようになった。
- ・女性アナウンサー(坂井)が上達している。
- ・視聴者からの反応はあったか？
 ─────────▶ 番組の感想というよりは、クロマキー(合成映像)の技術により、生放送っぽいとの声があった。
 番組告知方法が不十分でその辺は今後の課題である。



TwitterやFacebookなどSNS使った情報発信の方法が広がっている。
 「タネット」でも取り入れたらどうか？最近では年配の方でも活用しているため効果が期待できる。

《その他》

- ・これまで(テレビの番組表以外では)ホームページでしか見ていただけなかった「タネット」番組表を紙にして、市内の公民館など14か所に配布することにした。
 ─────────▶ 市役所の入り口では、テレビの付近に貼り出してみるのもいいのではないか。
 ─────────▶ 番組のジャンルがわかるように色分けやマーク記号をつけたらどうか。
 ─────────▶ SNSを活用するといろんな使い方ができるので並行して検討してみてもどうか。
- これらの意見を参考に検討していくこととした。
- ・保育園では第三者への情報開示を許可しない保護者がいらっしやるために取材を断らないといけないケースがある。(審議委員より)
 ─────────▶ 意外と実際に映像を見せると問題ない場合もあるので、事前に学校側に確認をしていただいて放映するなどの対策を講じている。(タネット)
 - ・学校のPTAの広報活動などでも、写真データのやり取りが禁止されるようになり、大変苦労している。
 個人的には「タネット」にはどんどん学校行事に入り込んで子供たちの様子を放送していただきたい。